

説明会資料

平成16年12月期中間決算説明会

平成16年8月20日
ハイブリッド・サービス株式会社

平成16年12月期中間決算について

1. マーキングサプライ品市場の動向 4ページ~5ページ
2. 当社のカテゴリー別販売動向 6ページ
3. 上期のカテゴリー別販売状況 7ページ
4. 要約損益計算書 8ページ~9ページ
5. 要約貸借対照表 10ページ
6. キャッシュ・フロー計算書 11ページ

平成16年12月期通期業績見通し

1. 今後の方向性 13ページ
2. 下期の経営戦略 14ページ~17ページ
3. 平成16年度通期予想 18ページ~19ページ

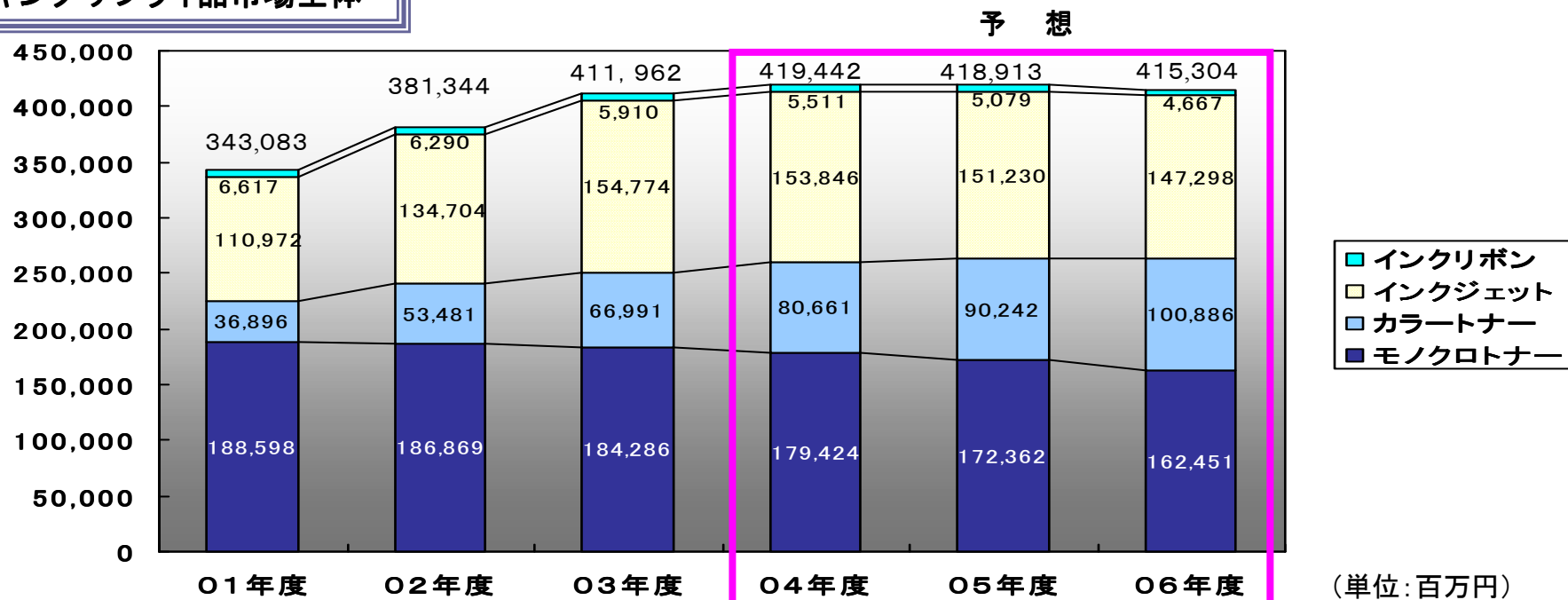
平成16年12月期中間決算について

マーキングサプライ品市場の動向 1

2003年度の国内マーキングサプライ品の市場規模は約4,200億円で対前年比108%増加、
本数(個数)ベースでは同117%の増加を示した。

市場トレンドは、数量ベースこそ2005年度までプラス成長すると見込まれるものの、
金額ベースでは2004年度をピークに緩やかな下降線をたどるものと予想される。

マーキングサプライ品市場全体

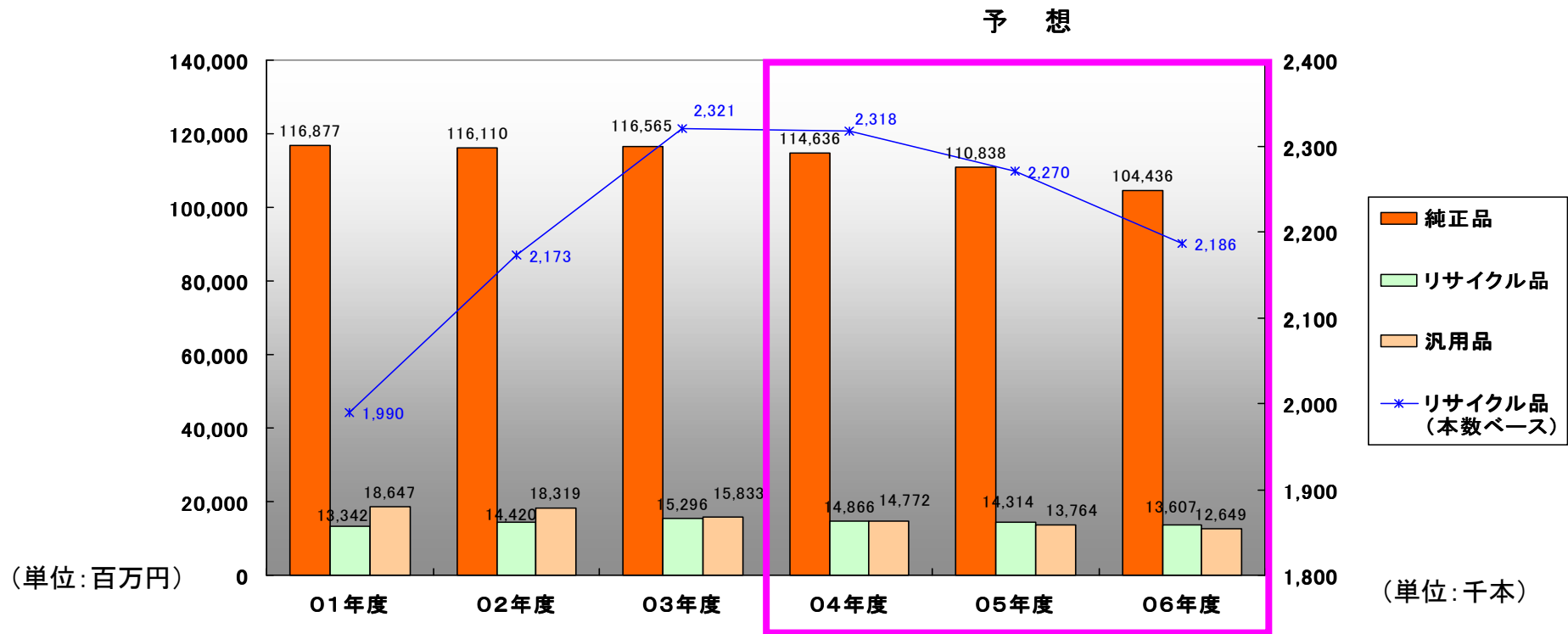


(注)資料の出所:BNS株式会社より

マーキングサプライ品市場の動向 2

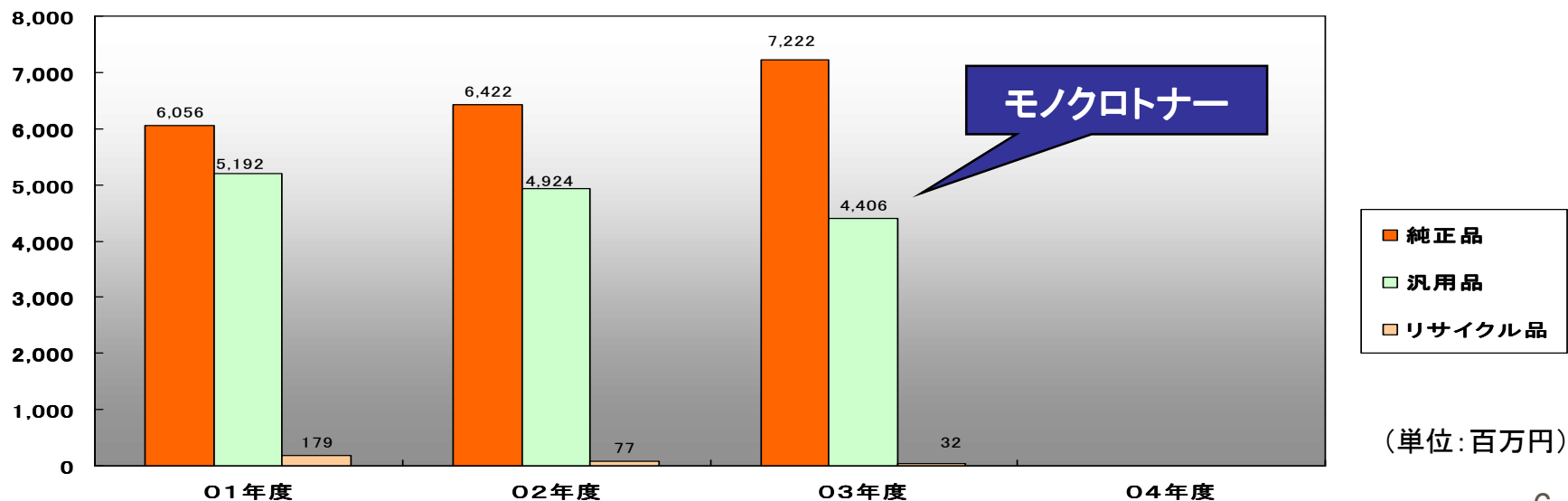
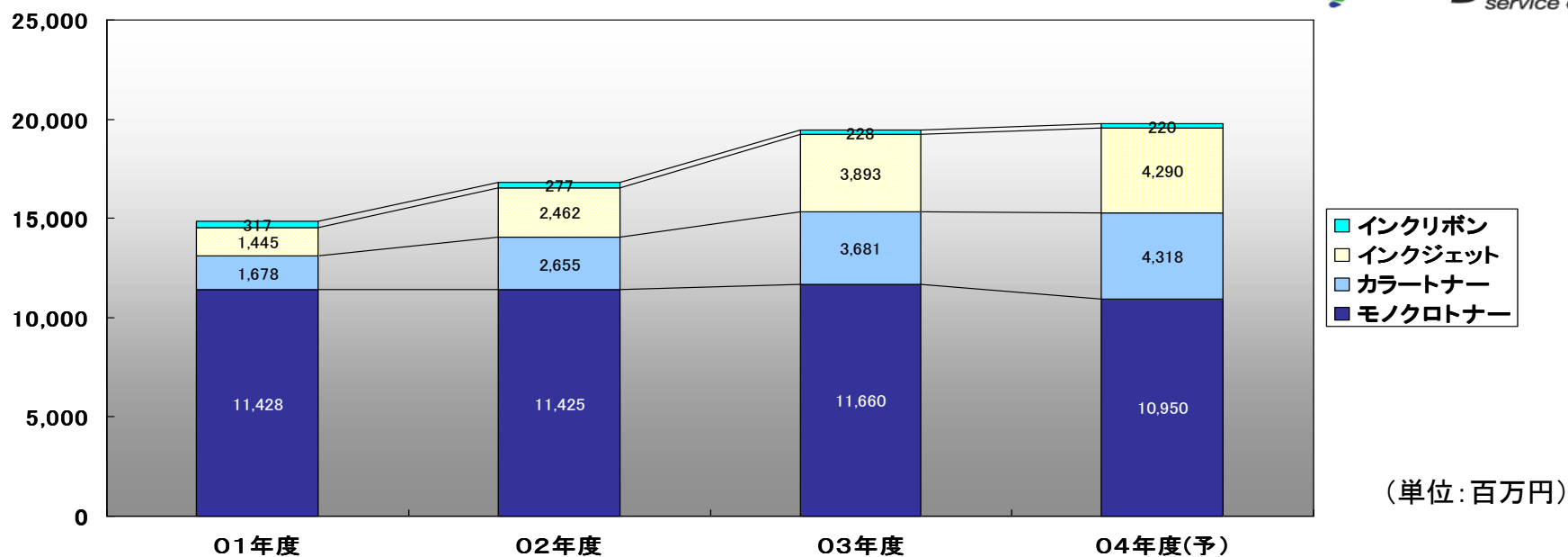
2003年度のモノクロトナーカートリッジ市場は金額ベースで1,477億円(対前年比99.2%)本数ベースで946万本(同101%)とほぼ横ばいで推移した。

そうした中で、リサイクル品が金額・数量ともに106%と高い伸びを示し、反面、純正品は伸び悩み、汎用品は海外からの汎用品、輸入純正品、ともに低調に推移した。

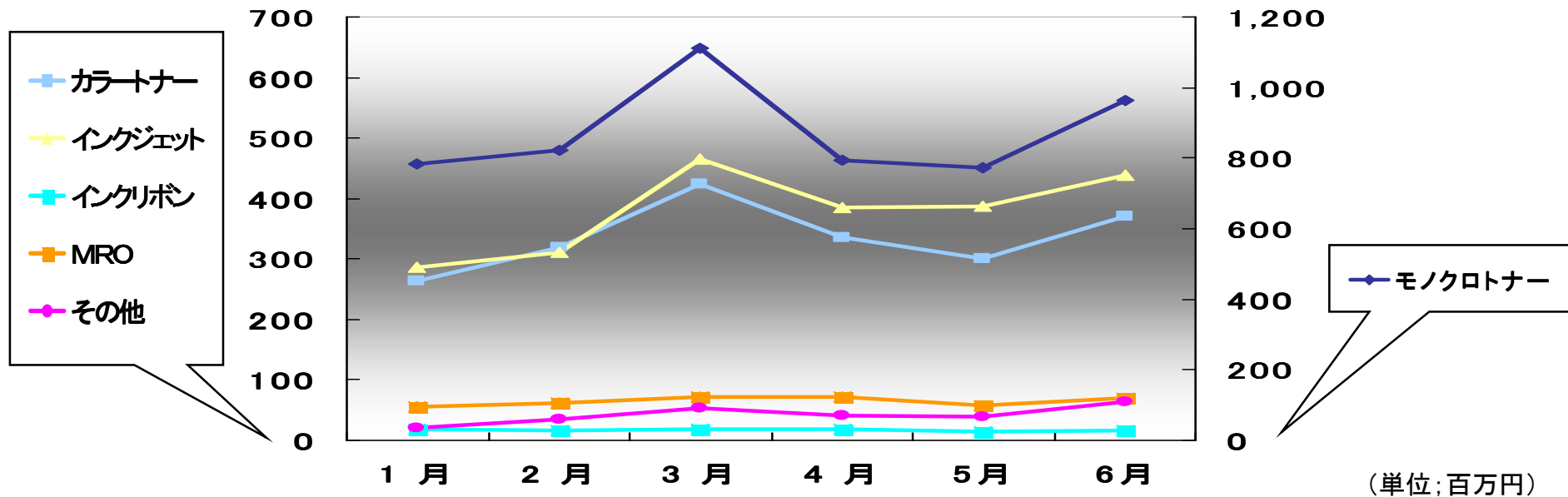


(注)資料の出所: BNS株式会社より

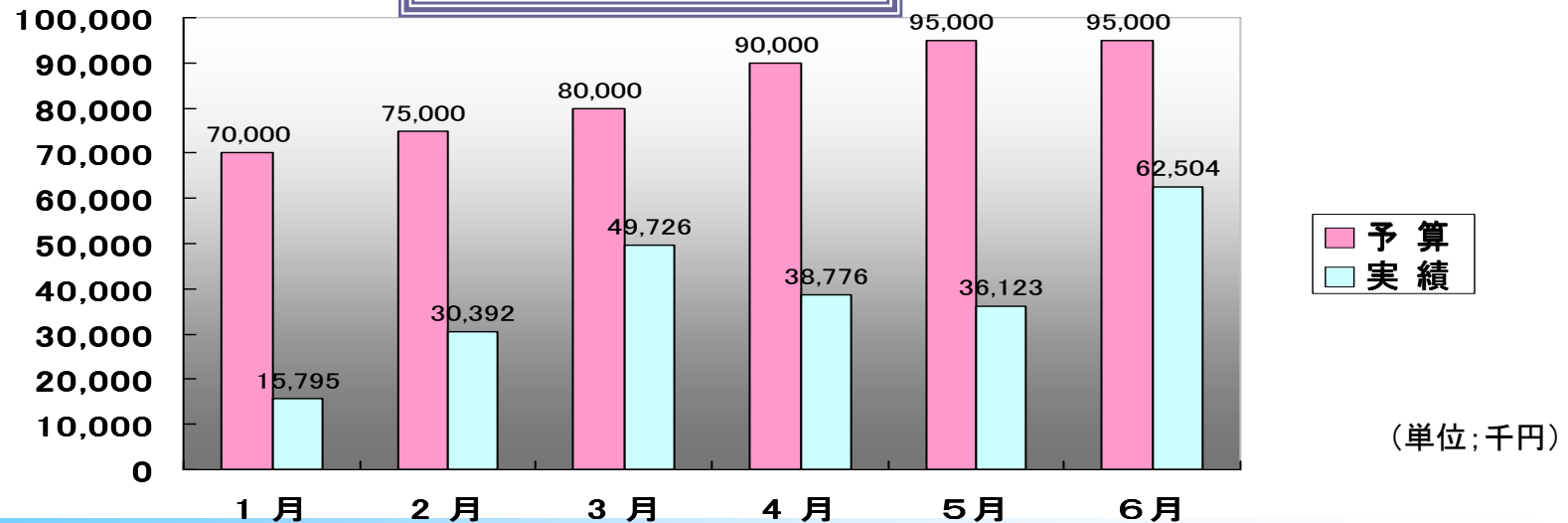
当社のカテゴリー別販売動向



上期の 카테고리別販売状況



OA用紙売上高



平成16年度中間期要約損益計算書



(単位：百万円)

	平成16年12月 中 間 期	平成15年12月 中 間 期	前 年 同 期 比	期 初 予 想
売 上 高	10,304	9,667	106.58%	10,696
モノクロトナー	5,251	5,942	88.37%	5,640
カラートナー	2,018	1,719	117.39%	2,260
インクジェットカートリッジ	2,278	1,492	152.68%	1,779
インクリボン	106	111	95.49%	105
M R O	392	292	134.24%	380
そ の 他	259	109	237.61%	531
売上高総利益	1,006	988	101.82%	1,051
販売管理費	771	611	126.18%	749
営業利益	234	377	62.06%	301
経常利益	212	363	58.40%	282
当期純利益	143	201	71.14%	156

(注)平成16年8月6日に業績修正発表を行っております。

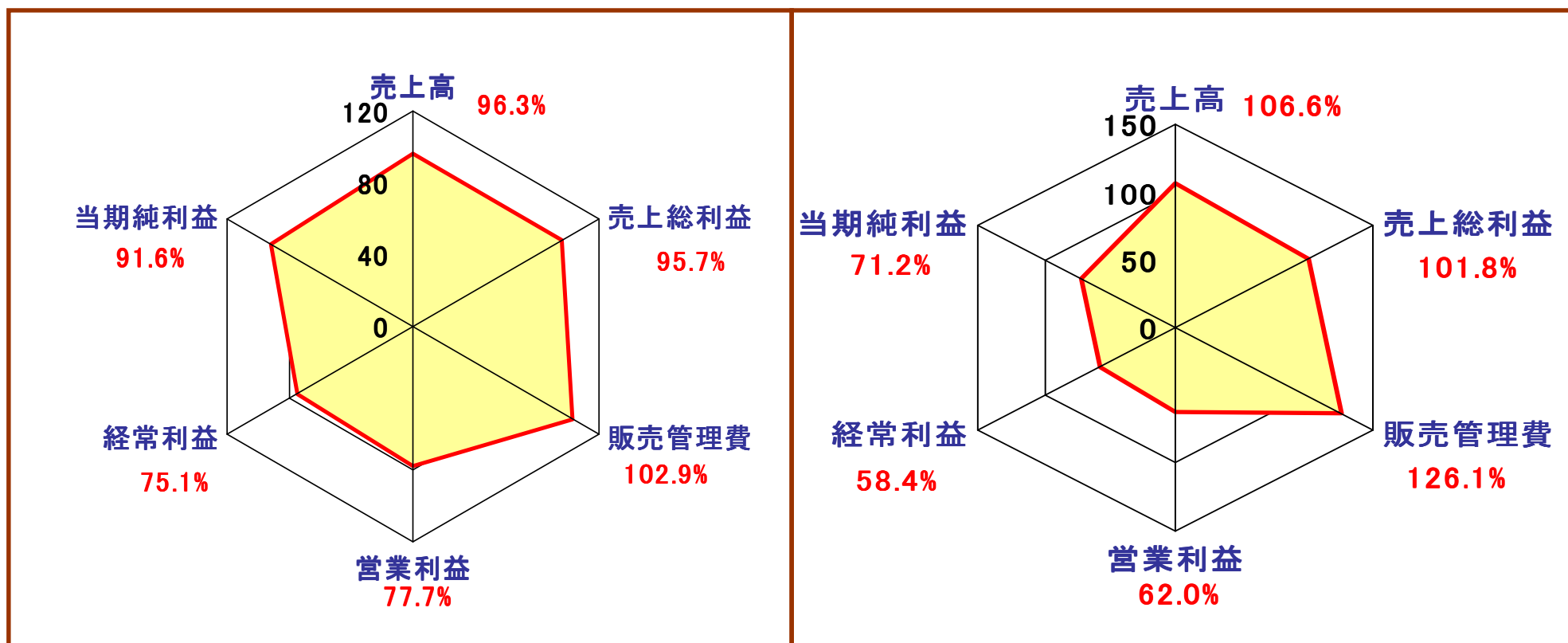
OA用紙はその他に含まれます。

平成16年度中間期要約損益計算書



期 初 予 算 比

前 年 同 期 比



平成16年度中間期要約貸借対照表

(単位：百万円)

(単位：百万円)	当中間期末	前 期 末	増 減	主な増減要因
流動資産	7,905	7,518	387	現預金781百万円増加 売掛金386百万円減少
固定資産	1,215	1,185	30	
有形固定資産	69	74	△5	
投資その他資産	1,119	1,084	35	
資産合計	9,120	8,704	416	
流動負債	4,404	6,420	△2,016	長期借入へのシフト
短期借入金	1,300	2,700	△1,400	
固定負債	2,791	279	2,512	新規借入
長期借入金	2,500	0	2,500	
負債合計	7,196	6,700	496	
資本合計	1,924	2,004	△80	中間純利益143百万円 自己株式取得96百万円 配当支払83百万円
負債・資本合計	9,120	8,704	416	

平成16年度中間期要約キャッシュ・フロー計算書

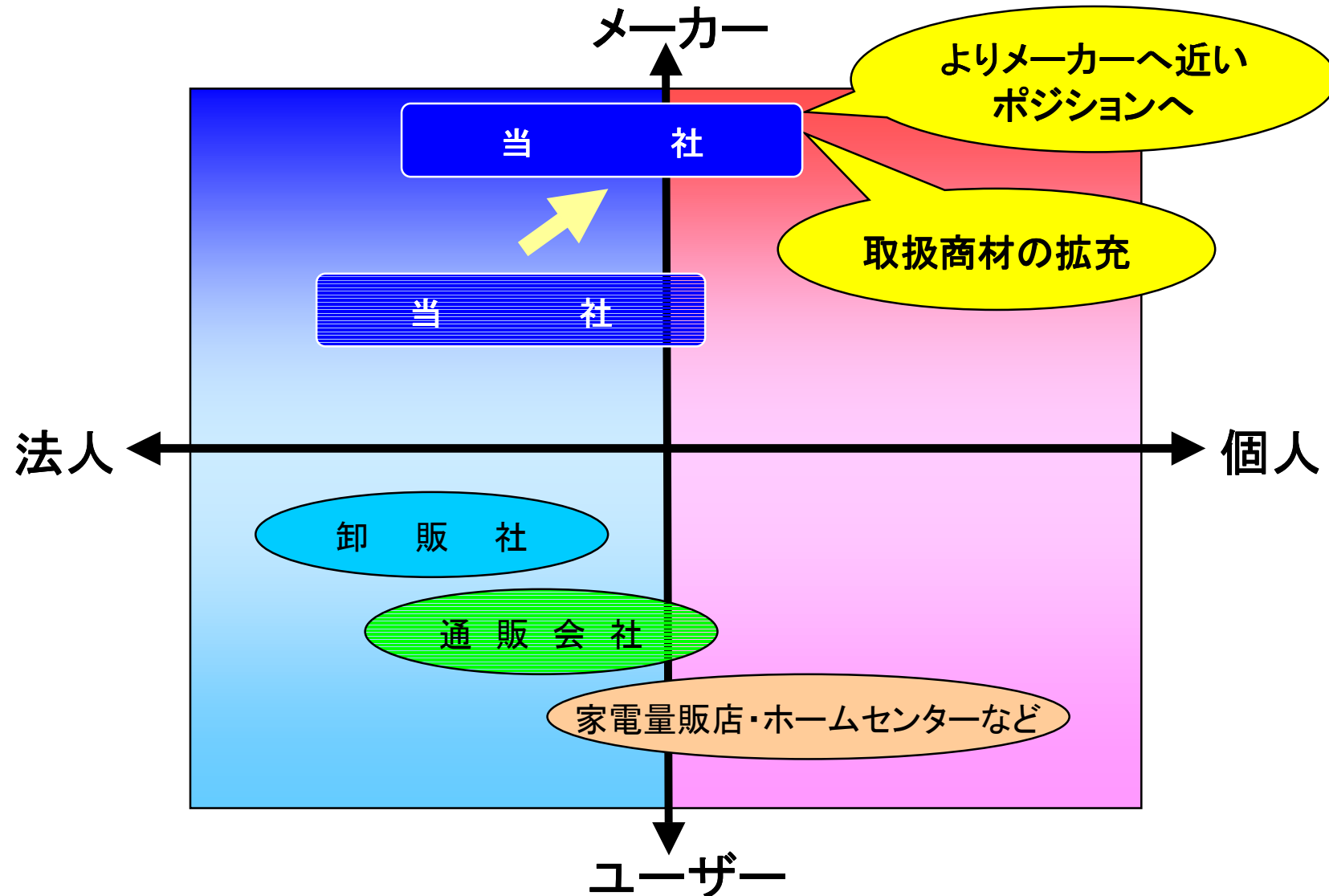
(単位：百万円)

	当中間期	前中間期	増 減	主な増減要因
営業活動によるCF	△133	△656	523	棚卸資産の最適化
投資活動によるCF	△12	△642	630	前中間期に投資有価証券の取得550百万が発生
財務活動によるCF	920	1,061	△141	長期借入を行い、短期借入の返済を実行
期末残高	2,152	961	1,191	手元資金の増加

平成16年12月期通期業績見通し

今後の方向性

卸販社・通販会社に次ぐ第三の販路の確立



下期の経営戦略



①3新戦略の徹底により、新規顧客開拓を強化

②家電量販店・ホームセンターなどへ、記録メディア及び記録メディア以外の
インクジェットカートリッジなどの商品の販売を強化

③上海現地法人の強化

④役員報酬制度の見直し等による、販管費及び一般管理費の削減

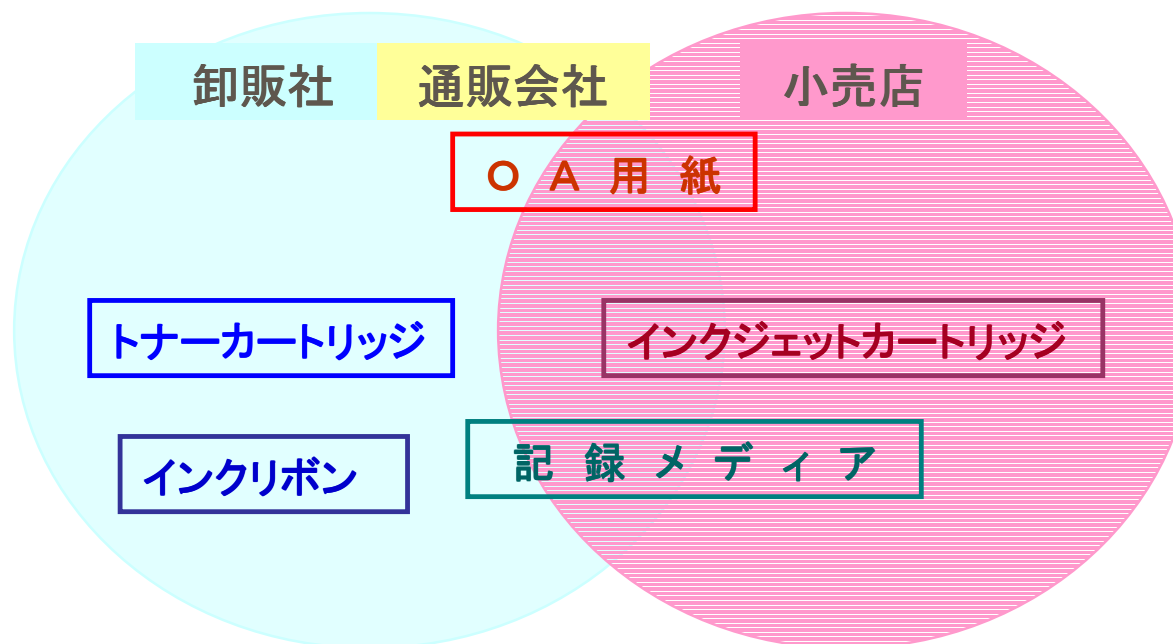
⑤OA用紙のクオリティー向上による販売巻き返し

①3新戦略の徹底により、新規顧客開拓を強化



新しい商材で新しい販路の拡大！

②家電量販店・ホームセンターなどへ、記録メディア及び記録メディア
以外のインクジェットカートリッジなどの商品の販売を強化



上期新規獲得者数

関東	33社
中部	10社
北海道	6社
九州	4社
関西	2社
中国	2社
北陸	2社
東北	1社
合計	60社

取引実績

	03年通期	04年上期	04年下期
卸販社	891社	1080社	社
通販会社	14社	14社	社
小売店	1社	1社	10社以上

家電量販店10数社
ホームセンター数社
その他数社稼動

③上海現地法人の強化

日本企業で初！

上海在住の日系企業3,000社をターゲットに本年3月より営業開始

9月より新カタログ発刊予定



平成16年度通期予想

(単位：百万円)

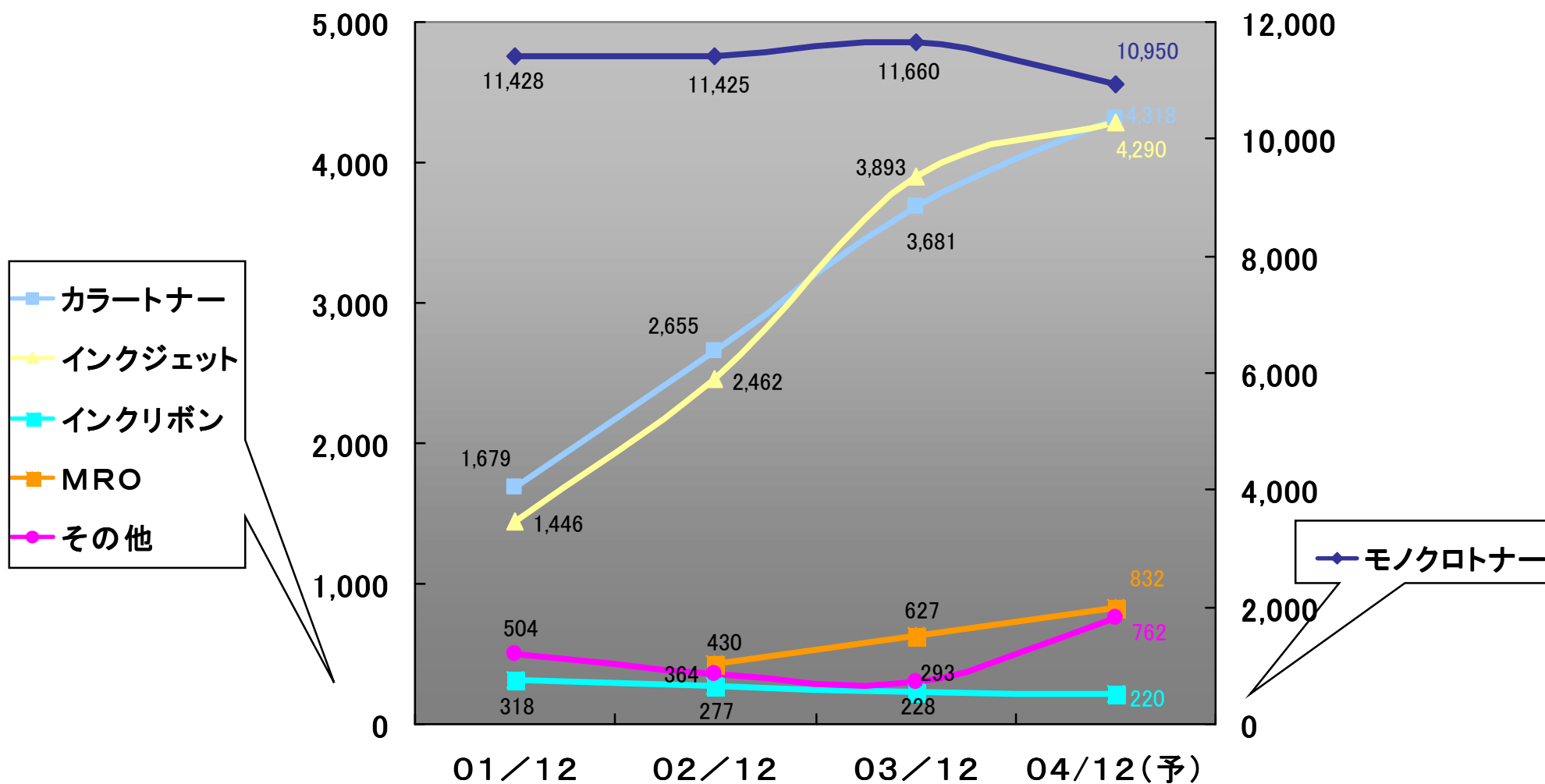
	平成16年12月 通 期	平成15年12月 通 期	前 年 同 期 比	期 初 予 想
売 上 高	21,375	20,384	104.86%	22,500
モノクロトナー	10,950	11,660	93.91%	11,773
カラートナー	4,318	3,681	117.30%	4,718
インクジェットカートリッジ	4,290	3,893	110.19%	3,714
インクリボン	220	228	96.49%	220
M R O	832	627	132.69%	820
そ の 他	762	293	260.06%	1,255
売上高総利益	2,079	1,935	107.44%	2,215
販売管理費	1,534	1,301	117.90%	1,497
営業利益	545	633	86.09%	718
経常利益	498	603	82.58%	680
当期純利益	348	343	100.45%	396

(注)平成16年8月6日に業績修正発表を行っております。 OA用紙・記録メディアはその他に含まれます。

平成16年度通期予想



(単位:百万円)



注意事項

- ・この資料には、ハイブリッド・サービスの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- ・これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信にもとづく見込です。
- ・また経済動向、市場需要、為替変動、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実性も含んでおります。実際の業績は当社の見込とは異なることもあります。

IR窓口

所在地

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町二丁目2番地 共同ビル5F

担当:取締役管理部長 道下寛一

経営企画室長 田淵幸男

TEL:03-3262-8422

FAX:03-3262-6272

Mail:ir@hbd.co.jp